

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten



11月園だより

〒106-0046
港区元麻布 3-8-15
平成30年10月30日

【展覧会に向け、表現活動を楽しむ子どもたち】

小学校のファッションショーを真似しています。



3歳児: セロファンテープの技能も日々、遊びの中で上達。



4歳児: 絵の具を使い、様々な技法に挑戦中。



5歳児: ダイナミックに絵の具を使って自分を表現。



豊かな感性と表現

園長 小久保 篤子

先日の親子運動会では、子どもたちが元気いっぱいに取り組む姿をご参観いただきました。どの学年も、親子で楽しむ姿や友達と気持ちを揃えたり競い合ったりする姿が見られました。PTAの役員を始め、運動会委員の皆様、保護者の皆様、たくさんのご協力をありがとうございました。

運動会后、子どもたちは、学年同士で互いに刺激を受け合い、異学年でかかわって遊ぶことが多くなりました。また、先日、小学校の展覧会リハーサルを参観した時には、知っている小学生を見つけては、喜んで声援を送るなど、小学生との自然なかかわりも生まれています。子どもたちの遊びのアンテナは本当に敏感です。子どもたちは展覧会から戻ってくると、早速、小学生がしていた「ファッションショーをやりたい!」と言い、それに応じて材料を用意する教師の援助もあり、子どもたちは衣装を作ったり、積み木でファッションショーの舞台を作ったりして、自分たちなりに再現して、表現を楽しんでいました。

幼児期は、信頼や憧れをもって見ている人の言動や態度などを模倣したり、自分の行動にそのまま取り入れたりすることが多い時期です。きっと美しいもの、優れたものなどに触れ、心を動かす体験を通じて、子どもたちなりに「感性」が働いて何かを感じ取り、子どもたちは、そこで生まれた感情を、幼稚園に戻って、様々な材料や用具を使って「表現」することを楽しんでいたのでしょう。幼稚園教育でいう「表現」には、身振りで表したり、楽器を鳴らしたり、クレパスや絵の具で描いたりする表現がありますが、大切なことは、表現することを心から楽しみ、好きになることだと考えています。子どもたちが「表現することが楽しい」と実感できるように私たちも日々、教材研究を重ねていきます。

11月は「港区教育推進月間」「東京都教育の日」「全国幼稚園ウイーク」等、学校教育について保護者や地域の皆様の理解推進を図るため、様々な取組がなされる月です。本園では、展覧会を計画しております。今後も保護者の皆様、地域の皆様にご参観いただく毎月の行事や日々のホームページを通じて、園の子どもたちの様子や幼稚園教育への理解、教育活動の理解を深めていただくよう努めます。

